



2023年5月15日

各位

会社名 三協フロンテア株式会社
代表者名 代表取締役社長 長妻 貴嗣
(コード番号9639 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営管理部長 鎌倉 淳
(TEL. 04-7133-6666)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2023年2月7日に開示いたしました表記開示資料について訂正がありましたので下記の通りお知らせいたします。

また、数値データの訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由と内容

訂正の理由と内容につきましては、別途、本日(2023年5月15日)付け「過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は___線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後の本文のみを記載しております。

以上



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 三協フロンティア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9639 URL <http://www.sankyofrontier.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長妻 貴嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 鎌倉 淳 TEL 04 (7133) 6666
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 36,274 | △7.1 | 4,244 | △44.8 | 4,489 | △43.4 | 2,896 | △41.6 |
| 2022年3月期第3四半期 | 39,055 | 12.4 | 7,684 | 36.3 | 7,925 | 40.6 | 4,958 | 38.1 |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,983百万円 (△40.3%) 2022年3月期第3四半期 5,001百万円 (38.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 260.65 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 446.23 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 61,485 | 39,893 | 64.9 | 3,589.95 |
| 2022年3月期 | 64,494 | 38,632 | 59.9 | 3,476.45 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 39,893百万円 2022年3月期 38,632百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 80.00 | — | 80.00 | 160.00 |
| 2023年3月期 | — | 75.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 80.00 | 155.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 50,000 | △6.3 | 7,000 | △28.5 | 7,000 | △30.4 | 4,400 | △30.8 | 395.94 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 11,678,400株 | 2022年3月期 | 11,678,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 565,729株 | 2022年3月期 | 565,729株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期3Q | 11,112,671株 | 2022年3月期3Q | 11,112,744株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資において増加傾向がみられました。また、中国でのコロナ政策の変更による景気回復への兆しや各国中央銀行の金融政策の変化に伴う景気上昇への期待感があるものの、ウクライナ情勢の長期化等によるインフレ進行など、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

建設業界においては、政府建設投資は底堅く推移しており、民間建設投資も非住宅投資が前年度を上回る水準になる見通しである半面、記録的な円安や建設資材の価格高騰など注視すべき状況が続いております。

このような情勢のなか、当社グループは、前期にオリンピックなどの大型物件の計上があったため、前期と比較すると売上高、経常利益ともに低くなっておりますが、ホームページへのアクセス数、問い合わせ件数は前年を上回って推移するなどお客様のニーズが高い状態が続いており、全体としては計画に沿って堅調に推移しております。

しかしながら、資源や原材料の価格は上振れリスクを含んでいるため、引き続き原価低減、経費抑制を推進し利益確保に努めるとともに、新店舗のオープンや既存店舗のリニューアルなど店舗網を拡充させることで、需要に対応できる体制の強化を図ってまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,274百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

利益面におきましては、営業利益4,244百万円（前年同期比44.8%減）、経常利益4,489百万円（前年同期比43.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,896百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し3,009百万円減少し61,485百万円となりました。変動の大きかった主なものは、建物及び構築物の増加1,546百万円、原材料及び貯蔵品の増加491百万円、その他の流動資産の増加415百万円、商品及び製品の増加365百万円、仕掛品の増加307百万円、レンタル資産の増加120百万円、現金及び預金の減少2,846百万円、営業未収入金の減少1,837百万円、建設仮勘定の減少1,241百万円、売掛金の減少616百万円などであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ4,270百万円減少し、21,591百万円となりました。変動の大きかった主なものは、仕入債務の増加453百万円、未払法人税等の減少2,027百万円、短期及び長期借入金の純減1,395百万円、その他の流動負債の減少877百万円、賞与引当金の減少296百万円などあります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増加し、39,893百万円となりました。自己資本比率は64.9%となっており、健全な財務状況を保っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月27日の決算短信で公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,879 | 4,032 |
| 受取手形 | 483 | 558 |
| 電子記録債権 | 1,302 | 1,218 |
| 営業未収入金 | 6,325 | 4,488 |
| 売掛金 | 2,041 | 1,424 |
| 契約資産 | 103 | 339 |
| 販売用不動産 | 14 | 14 |
| 商品及び製品 | 1,694 | 2,059 |
| 仕掛品 | 761 | 1,069 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,218 | 1,709 |
| その他 | 555 | 970 |
| 貸倒引当金 | △77 | △59 |
| 流動資産合計 | 21,302 | 17,827 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| レンタル資産(純額) | 16,663 | 16,783 |
| 建物及び構築物(純額) | 7,507 | 9,054 |
| 土地 | 10,007 | 10,007 |
| 建設仮勘定 | 1,420 | 179 |
| その他(純額) | 1,858 | 1,918 |
| 有形固定資産合計 | 37,458 | 37,943 |
| 無形固定資産 | 473 | 590 |
| 投資その他の資産 | 5,259 | 5,123 |
| 固定資産合計 | 43,191 | 43,657 |
| 資産合計 | 64,494 | 61,485 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 536 | 561 |
| 電子記録債務 | 6,958 | 7,973 |
| 買掛金 | 1,450 | 1,726 |
| 短期借入金 | 1,914 | 2,874 |
| 未払費用 | 3,034 | 2,127 |
| 未払法人税等 | 2,103 | 76 |
| 契約負債 | 1,770 | 1,845 |
| 賞与引当金 | 594 | 297 |
| その他 | 1,520 | 643 |
| 流動負債合計 | 19,883 | 18,126 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,739 | 1,383 |
| 役員退職慰労引当金 | 97 | — |
| 環境対策引当金 | 6 | 6 |
| 退職給付に係る負債 | 1,291 | 1,313 |
| 資産除去債務 | 583 | 615 |
| その他 | 258 | 145 |
| 固定負債合計 | 5,978 | 3,465 |
| 負債合計 | 25,861 | 21,591 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,545 | 1,545 |
| 資本剰余金 | 2,776 | 2,776 |
| 利益剰余金 | 34,527 | 35,701 |
| 自己株式 | △315 | △315 |
| 株主資本合計 | 38,533 | 39,707 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5 | 10 |
| 為替換算調整勘定 | 104 | 183 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △10 | △7 |
| その他の包括利益累計額合計 | 98 | 186 |
| 純資産合計 | 38,632 | 39,893 |
| 負債純資産合計 | 64,494 | 61,485 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 39,055 | 36,274 |
| 売上原価 | 21,875 | 21,679 |
| 売上総利益 | 17,179 | 14,594 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,495 | 10,350 |
| 営業利益 | 7,684 | 4,244 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 205 | 5 |
| スクラップ売却収入 | 46 | 68 |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | — | 74 |
| その他 | 39 | 142 |
| 営業外収益合計 | 291 | 291 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 10 |
| 支払手数料 | 7 | 15 |
| 和解金 | 16 | — |
| その他 | 11 | 19 |
| 営業外費用合計 | 50 | 45 |
| 経常利益 | 7,925 | 4,489 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 85 | 136 |
| 子会社株式売却損 | 35 | — |
| 減損損失 | 130 | — |
| 特別損失合計 | 252 | 136 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,673 | 4,352 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,615 | 1,276 |
| 過年度法人税等 | — | 15 |
| 法人税等調整額 | 99 | 164 |
| 法人税等合計 | 2,714 | 1,456 |
| 四半期純利益 | 4,958 | 2,896 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,958 | 2,896 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,958 | 2,896 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1 | 5 |
| 為替換算調整勘定 | 44 | 78 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | 3 |
| その他の包括利益合計 | 43 | 87 |
| 四半期包括利益 | 5,001 | 2,983 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,001 | 2,983 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首に適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。